

古代鉄
歌謡館

神々の郷さかでみる
神々の舞姿おどり

「簸の川大蛇退治」等、1公演2演目上演!

出雲神楽の タマベ

無料駐車場 80 台有

古代鉄歌謡館

島根県雲南市大東町中湯石 84 番地

TEL. 0854-43-6568

<http://www.kodaitetsu.com>

古代鉄歌謡館

検索



※公演スケジュールを変更する場合があります。
HPをご確認ください。

定期公演

4月～12月(8月は休演)、3月[19:00-20:30]

高校生以上 1,000円 中学生以下 無料

雲南市の出雲神楽HP

<https://unnan-izumokagura.com>



スタンプカード進呈します

主催 株式会社キラキラ雲南 後援 雲南市、一般社団法人雲南市観光協会

イラスト：小池佑奈

出雲神楽

出雲神楽とは、若屋戸にお隠れになった天照大神のおましを願う「アメノウズメノミコト」の舞が神楽の起源とされています。古事記、日本書紀の「神代」には、出雲神楽の元となっている神話が多数挿入されています。そこに登場するスサノヲ、オロチ、オオクニニシ、イナタヒメ。その多くは雲南市を流れる斐伊川流域にまつわる神話です。雲南市内には、現在多くの神楽社中があり、地域の郷土芸能として脈々と受け継がれています。

演目紹介 簸之川大蛇退治

須佐之男命（すさのおのみこと）が、斐伊川の川上で、一人の姫を中に嘔き苦しんでいる老夫婦に出会いました。この川上に住む、頭は八つ、尾は八つの恐ろしい大蛇に七人の姫を取り呑まれ、この稲田姫を取り呑まんともうすぐやってくるといいます。須佐之男命は大蛇を退治しようと、強い酒を造り、八つの酒舟に満たして家の周りに置きました。やがてやってきた大蛇は、酒を一滴も残さずに飲み干し、酔っ払って寝てしまいます。須佐之男命は十握の剣をもって大蛇をずたずたに切り裂き、尾より天叢雲剣（後の草薙の剣）を取り出しました。そして稲田姫を思い、「八雲立つ出雲八重垣妻籠に八重垣つくるその八重垣を」と和歌を詠み、須賀の地（現在の雲南市大東町須賀）に宮殿を建て、未永くお暮らしになりました。

※籠の川大蛇退治は出雲神楽の代表的な演目の一つであり、演目は毎回変わります。

演目の内容については、古代鉄歌謡館HPをご覧ください。

会場 | 古代鉄歌謡館 休館日：火曜日、12/29~1/3
雲南市大東町中湯石84番地 TEL.0854-43-6568
<http://www.kodaitetsu.com>

入場料金 | 4月~12月(8月は休演)、3月 ※公演スケジュールを変更する場合があります。
定期公演 ▶ 高校生以上1,000円 中学生以下無料

4/13(土)
19:00~20:30

西日登神楽社中
(木次町西日登)



7/13(土)
19:00~20:30

中野神楽保存会
(三刀屋町中野)



11/9(土)
19:00~20:30

南加茂貴船神楽社中
(加茂町南加茂)



5/11(土)
19:00~20:30

佐世神楽社中
(大東町下佐世)



9/14(土)
19:00~20:30

小河内神楽社中
(大東町小河内)



12/14(土)
19:00~20:30

須所若獅子会
(三刀屋町須所)



6/22(土)
19:00~20:30

山王寺和野神楽社中
(大東町山王寺)



10/12(土)
19:00~20:30

榎屋神楽保持者会
(木次町湯村)



3/8(土)
19:00~20:30

深野神楽保存会
(吉田町深野)



感染症拡大防止のためお客様にお願い申し上げます

- ◎マスクの着用は個人の判断でお願いします。また、館内での大声はお控えいただき、咳エチケットにご協力をお願いします。
- ◎スタッフはマスクを着用し、可能な限り発声を控え、社会的距離を保ちながらのサービス提供とさせていただきますので、ご理解をお願いします。
- ◎感染症対策については、対応方針により変更になる場合があります。

海潮温泉「出雲風土記」にその名を残す名湯

「松江の奥座敷」とも呼ばれ、広く親しまれています。初夏ははたる、秋は紅葉、冬は雪景色を楽しめます。



桂荘「源泉掛け流し大浴場」



海潮荘「天然温泉露天風呂 宝樹の湯」

公共交通機関で越しのお客様

- 電車 JR 本次駅出雲大東駅から(タクシー)約10分
- バス 松江大東バス 飛石桂荘前(徒歩)約5分
- 飛行機 出雲空港から(タクシー)約35分

自家用車で越しのお客様

- 松江自動車道三刀屋本次にICから約15分
- 松江自動車道雲南南加茂ICから約15分
- 松江から約30分 ●出雲から約40分
- 玉造温泉から約20分

